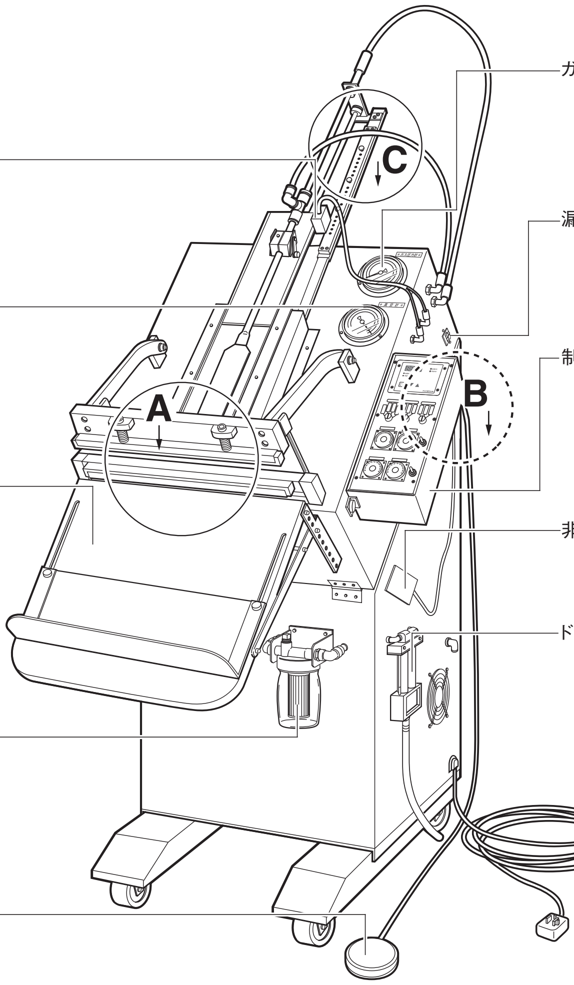
6　各部の名称とはたらき

6-1　各部の名称とはたらき



ガスノズル検知センサー
検知用ネジの取り付け位置をセンサーで検知します。

真空計
脱気動作時に真空計の針が動き、脱気具合を確認することができます。

テーブル
袋の大きさに応じて、テーブルの角度や袋のストッパー位置が調整できます。

吸気フィルター
ノズルより吸引された空気中の異物をフィルターで除去します。

フットスイッチ
本機の各作業工程を行う為に、フットスイッチで操作します。

ガス圧力計
ガスボンベの圧力表示を本機に取入れ、ガス圧の確認が手元で見えます。

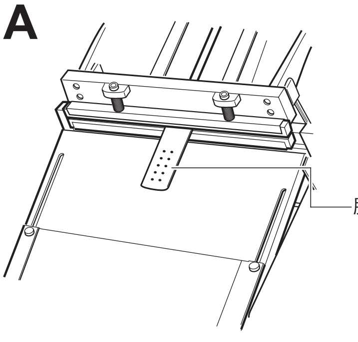
漏電ブレーカー（過熱防止回路付）
シール加熱時に設定時間以上電流が流れると、自動的に切れます。また、漏電時の場合でも自動的に切れます。

制御ボックス
機械の動作制御を各スイッチにて行います。

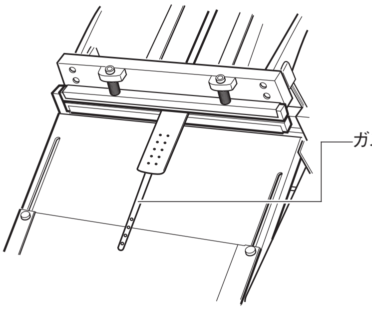
非常停止スイッチ
非常時や、中断時にスイッチを押すと漏電ブレーカーが切れます。

ドライフィルター
機械内のコンプレッサーから圧縮されたエアが水滴となり、機械内部に進入するのを防ぎます。除去された水滴はドライフィルターを通りホースから排出されます。

A

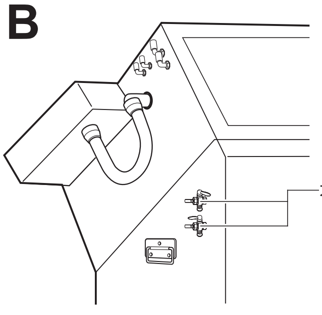


脱気ノズル
袋内のエアを吸引することで真空度を上げる為のノズル。脱気工程時に作動します。



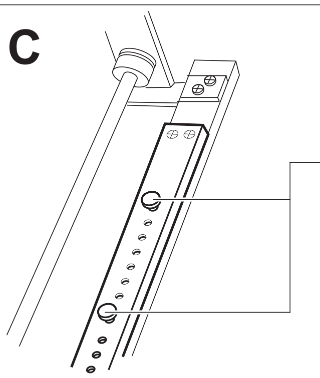
ガスノズル
袋内にガス充填することで内容物の酸化防止や積み重ねなどによる内容物の破損防止を行います。ガス充填工程時に作動します。

B



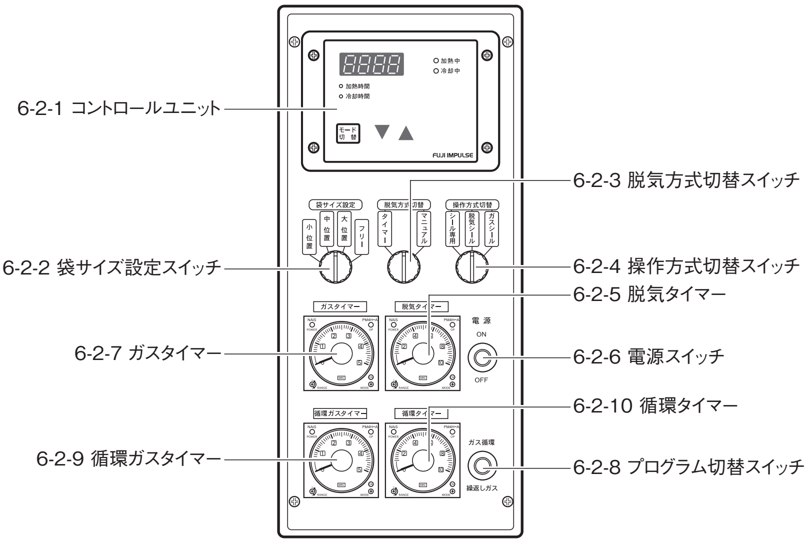
ガスコック
窒素ガス・炭酸ガスなどが併用（混合）できるようになっています。

C



検知用ネジ
ネジのセット位置により、ガスノズルのストロークを３段階に設定します。

6-2　制御ボックス（スイッチパネル）の各部の名称とはたらき



6-2-1　コントロールユニット

● コントロールユニットでシール条件の設定

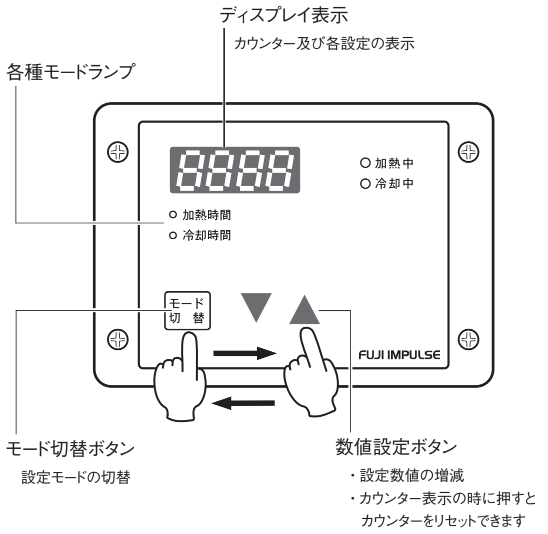
コントロールユニットで加熱時間・冷却時間を設定します。袋（フィルム）の材質、厚さなどにより設定値は変わりますので、異なる袋（フィルム）を使用される時はその都度設定してください。

モード切替ボタンを押すと

カウンター数→加熱時間→冷却時間の順にディスプレイ表示に呼び出せます。

呼び出されたモードはランプが点灯します。

どのモードのランプも点灯していない時はカウンターモードになっている時です。



● 加熱時間の設定

・「加熱時間」モードにして、▲、▼キーで数値を加減して設定します。

［0.1 ～ 2.5 秒の範囲］

・使用されるときの電圧、包装フィルム（袋）の材質により適切な加熱時間は異なります。

・シールができる最短の時間で設定してください。作業速度が上がり、部品の無駄な消耗を抑えます。

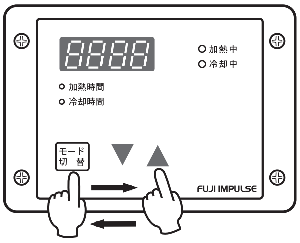
● 冷却時間の設定

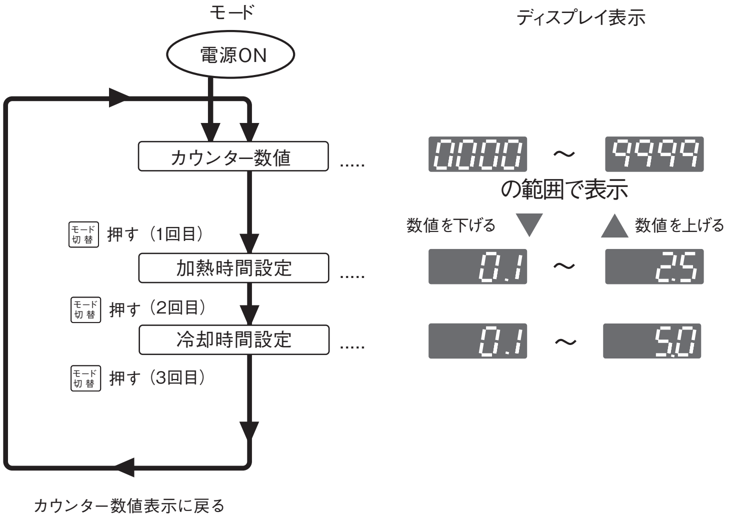
・「冷却時間」モードにして、▲、▼キーで数値を加減して設定します。

［0.1 秒～ 5.0 秒の範囲］

・冷却時間は加熱時間の 1.5 ～ 2 倍必要です。

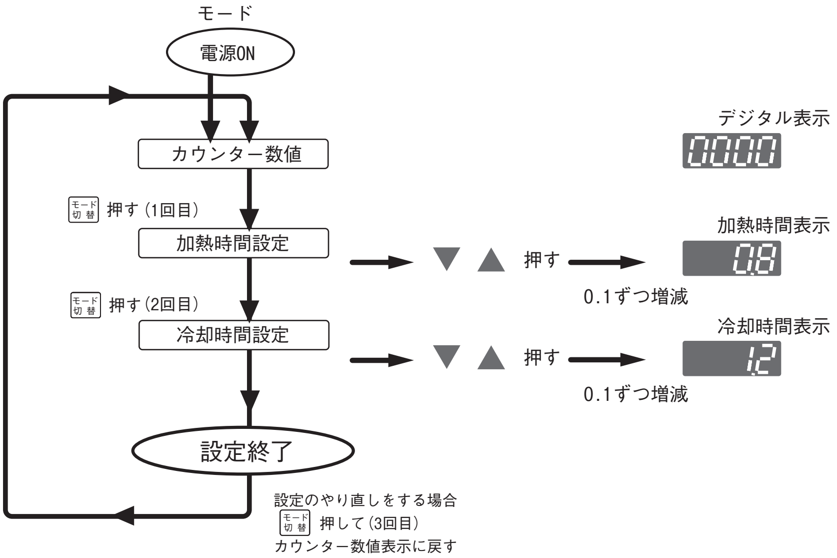
6-2-1-1　モードの設定手順





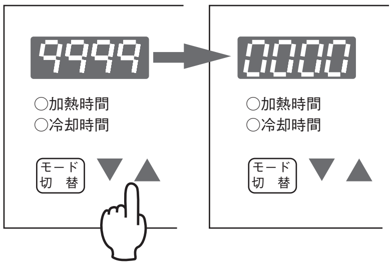
6-2-2-2　各モードの設定手順例

設定数値例 : 加熱時間 0.8 秒　冷却時間 1.2 秒



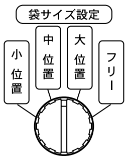
● **カウンターのリセット**

シール作業を行うとカウンターの数値が 1 ずつ 0000 ～ 9999 の範囲で増えていきます。数値を 0000 に戻したい場合は、カウンター数を表示しているモード状態で▲または▼ボタンを押してください。



6-2-2　袋サイズ設定スイッチ

4 段階（小・中・大・フリー）の袋の大きさによる設定に応じて、ガスノズルのストロークを変えることができます。

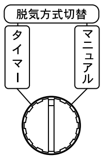


6-2-3　脱気方式切替スイッチ

スイッチの切り替えで次の脱気内容が選べます。

1　マニュアル脱気・・・脱気状態を目視で判断し、フットスイッチ操作で脱気を停止させます。

2　タイマー脱気・・・脱気タイマーの設定値まで脱気を行います。



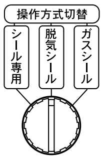
6-2-4　操作方式切替スイッチ

スイッチの切り替えで次の作業内容が選べます。

1　シール専用・・・シール作業のみ

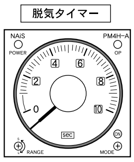
2　脱気シール・・・脱気+シール作業を行います。

3　脱気ガスシール・・・脱気+ガス+シール作業を行います。



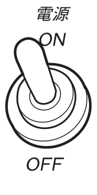
6-2-5　脱気タイマー

脱気具合をタイマーの目盛（脱気時間）を変えて、設定します。



6-2-6　電源スイッチ

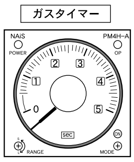
ON 状態にするとシーラーがスタンバイ状態になります。



⚠ 注意　電源スイッチを OFF にして、再び ON にすると初期状態になりますが、スイッチを OFF にした時は、5 秒以上経ってから再び ON にしてください。
コンプレッサー内のエアが抜けきらない状態で ON にすると、コンプレッサーに過大の電流が流れ、モーターを焼損する恐れが有ります。

6-2-7　ガスタイマー

ガス充填具合をタイマーの目盛（ガス充填時間）を変えて、設定します。



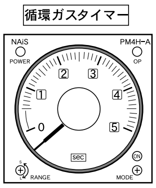
6-2-8　プログラム切替スイッチ

スイッチの切替えでガス充填方法の選択ができます。

1　ガス循環･･･脱気とガス充填を同時に行います。（内容物をつぶさない方式）

2　繰返しガス・・・脱気作動中にガス充填を繰返し行います。（内容物がつぶれますが、置換率をUPさせることができます。）

6-2-9　循環ガスタイマー

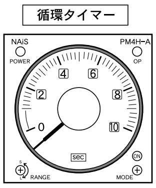


プログラム切替スイッチの内容によって下記内容の働きをします。

1　ガス循環・・・循環タイマーが作動する前に、循環ガスタイマーの設定値までガスを充填します。

2　繰返しガス・・・循環タイマーの設定時間までガス循環の繰返しを行います。

6-2-10　循環タイマー

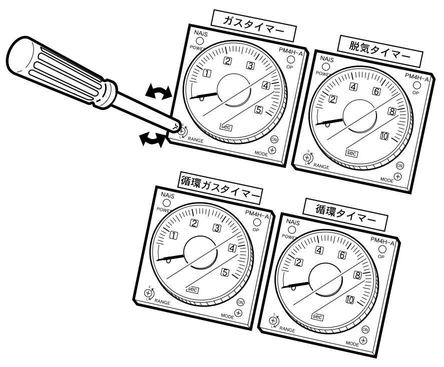


プログラム切替スイッチの内容によって下記内容の働きをします。

1　ガス循環・・・循環タイマーの設定値まで脱気とガス充填を同時に行います。

2　繰返しガス・・・循環タイマーの設定値まで脱気を行います。

6-2-11　タイマーの時間設定について



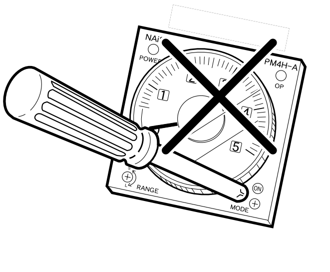
脱気・ガス・循環・循環ガスタイマーの時間設定は各タイマーの左下にあるRENGEのS・Lをプラスドライバーで回すことにより下記の様な設定可変値に自由に変更することができます。

制御時間範囲

（sec・秒）0.1 ～ 1・0.5 ～ 5・1 ～ 10・5 ～ 50
（min・分）0.1 ～ 1・0.5 ～ 5・1 ～ 10・5 ～ 50
（hrs・時）0.1 ～ 1・0.5 ～ 5・1 ～ 10・5 ～ 50
（10h・時）0.1 ～ 1・0.5 ～ 5・1 ～ 10・5 ～ 50

内容物や袋の大きさによって脱気時間やガス充填時間を設定する場合、コントロールユニットの加熱時間を「0.1」に合わせて（袋をシールしないようにして）、繰返し充分なテストを行い適度な時間を選んだ後、加熱・冷却タイマーの時間を設定し、作業を行ってください。

注！　各タイマーの右下にあるMODEは回さないでください。タイマーとしての機能が働かなくなります。



7 準備

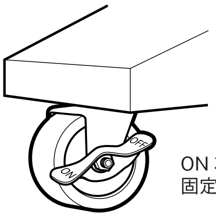
7-1 作業場所の確保

安全に効率的に作業するため、適切な作業環境でご使用ください。

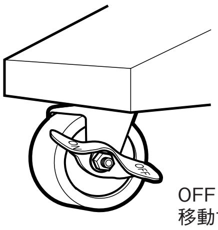
⚠ 警告 傾いたり、段差のある不安定な場所では使用しないでください。
機械が移動したり倒れたりして、機械の破損や人体の損傷につながりますので必ず安定した場所に設置し、キャスターのロックを行ってからご使用ください。

⚠ 警告 床面が濡れていたり、水滴・水蒸気のかかる場所では使用しないでください。機械の故障の原因となり、漏電・感電の恐れがあります。

⚠ 注意 湿度の高い場所での使用は、機体内のコンプレッサーからの吸気に水分が多く含まれエア機器に悪影響を及ぼします。また､ドライフィルターの寿命が大幅に短くなります。



ON 状態
固定する時



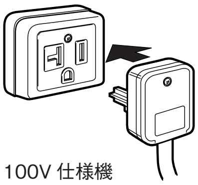
OFF 状態
移動する時

7-2 電源の接続

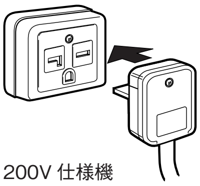
電源は必ず｢11 仕様｣に記載している電圧・消費電力に適合した容量のコンセントから直接接続してください。
電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。
電気配線工事は電力会社の認定工事店、または第3種接地工事の資格者によって行ってください。

⚠ 警告 消費電力は機種によって異なります。コンセントの容量が本機の消費電力以上あることを確かめ、直接接続してください。容量の少ないコンセントから電源を取ったり、継ぎ線やタコ足配線をすると電圧降下し、機械が正常に動作しないだけでなく、電線やコンセントが発熱して火災の原因にもなります。適切な容量の電源工事を行ってください。

⚠ 警告 附属部品に組込まれている標準のプラグの取替え配線をする場合、接続に誤りのないことを確かめてください。電線の接続は右イラストで示しています。また、アース線が所定の端子に接続されていない場合､電源側で短絡（ショート）したり漏電します。

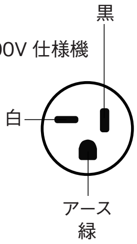


100V 仕様機

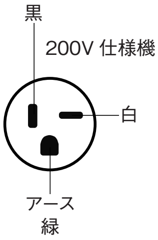


200V 仕様機

100V 仕様機

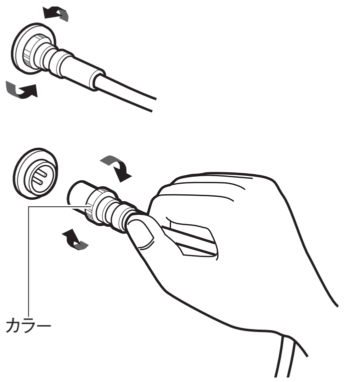


200V 仕様機



7-3　フットスイッチの取り付け

附属品の中にフットスイッチが入っています。製品の右側面にあるプラグに差し込み、カラーを回してねじ込んで固定してください。

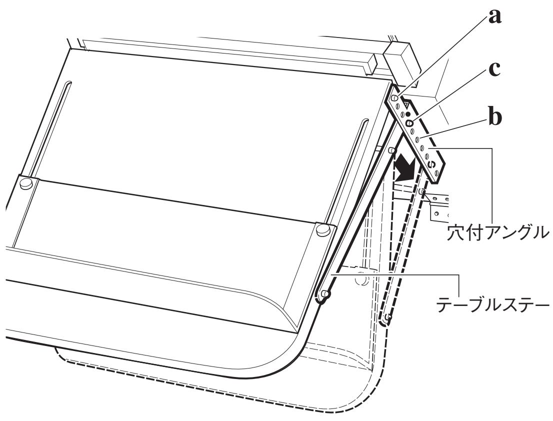


7-4　テーブルの高さと角度の調整

テーブルの高さと角度は、製品の前面両端にある穴付アングルにより調整します。

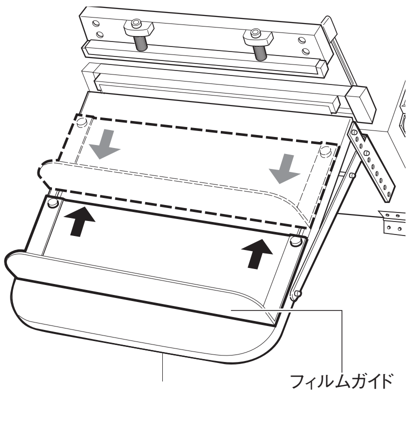
・テーブルピン a とアングル穴 b を合わせ、任意の高さに取り付けます。

・テーブルステー c とアングル穴 b を合わせて、角度を選択します。



7-5　フィルムガイドの調整

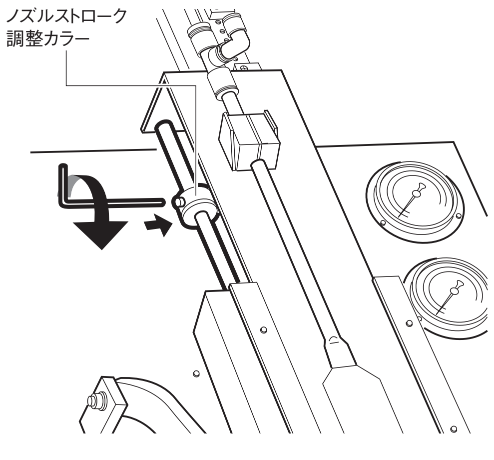
テーブル両端にある長穴にガイドを取り付けた後、フィルムの大きさに合わせてフィルムガイドを上下にスライドさせて位置調整し、ネジで固定してください。



7-6　脱気用ノズルのストローク調整

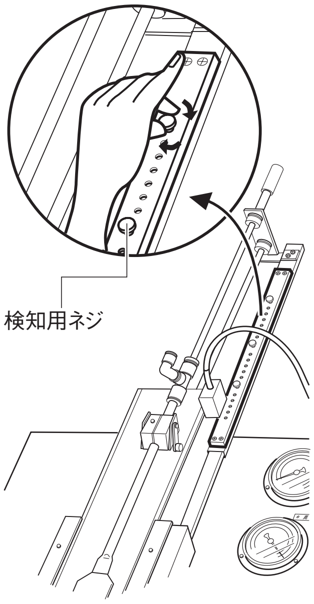
脱気用ノズルシリンダー上部にあるノズルストローク調整カラーを動かし、カラーを任意の位置で固定することによりノズルの出る寸法を調整できます。

附属品に入っている六角レンチ（5mm）で調整カラーを固定してください。



7-7　ガス用ノズルのストローク調整

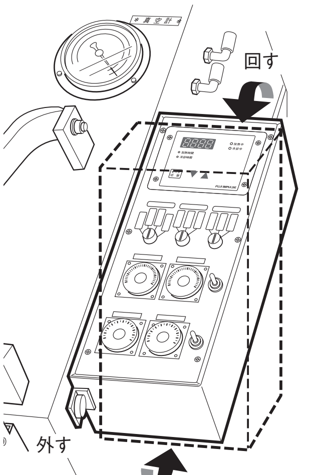
ガス用ノズルストローク調整は、ノズルサイズ切替えスイッチの（小・中・大・フリー）による４ケ所のストローク設定が任意にできます。設定方法は、白いレールの上に検知用ネジを３ケ所固定します。
袋の大きさに合わせて検知用ネジの固定位置を変えることにより、ガス用ノズルのストロークが変わります。ガス用ノズルが動くことで、ガスノズル検知センサーが検知用ネジの位置を読み取り、設定した位置でガス用ノズルが止まります。
出荷時にあらかじめ３ケ所（小・中・大）の設定をしていますが、お客様の袋のサイズに合わして設定を変更してください。また、ノズルサイズ切替えスイッチがフリーの場合、脱気用ノズル調整と同様にガス用ノズルシリンダー上部にあるノズルストローク調整カラーを動かし、附属品に入っている六角レンチ（4mm）で調整カラーを任意の位置で固定することによりノズルの出る寸法が調整できます。

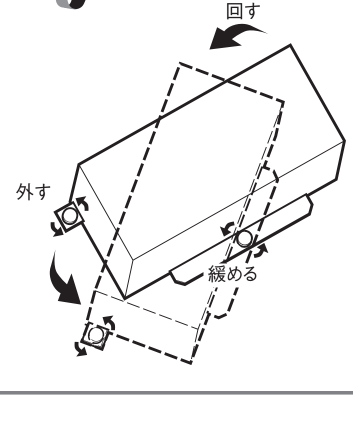


⚠ 注意　ノズルサイズ切替えスイッチの（フリー）で使用した後、切替えスイッチの（小・中・大）に変更する場合、ガス用ノズルストローク調整カラーを緩めてください。固定されたままで使用するとガスノズル検知センサーが検知用ネジの位置を読み取ることができません。

7-8　制御ボックスの角度調整

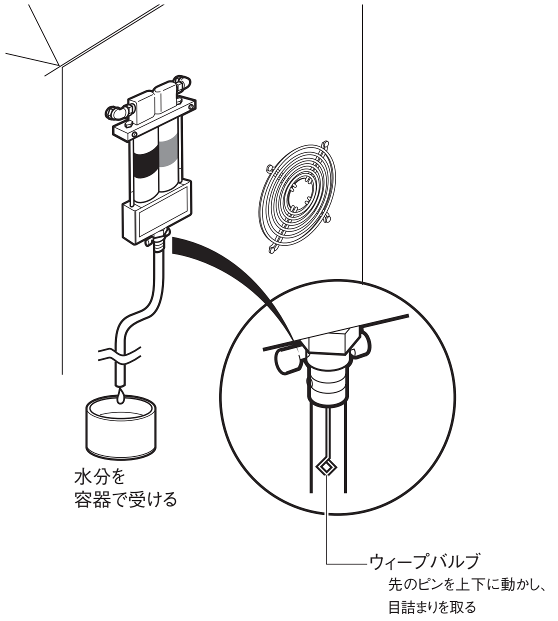
制御ボックスは２ケ所のネジで固定されていますが、手前のネジを外し横のネジを緩めることでボックスの角度を垂直に変えることができます。
立ち作業、座り作業に合わせて制御ボックスを使いやすい角度に変更してください。
制御ボックスの角度を変更された後は、もう一度ネジを固定してください。





7-9　ドライヤードレンの取り方

ドライフィルターは、フィルター内の水分を少量の排気エアに混ぜ、常にドレンから排出するオートドレン方式になっています。ドライフィルターから排出される水分は、製品の右側面からドレンホースを通じ外部に放出されます。ドレンタンクや空缶などでドレンホースを受けてください。
また、作業終了後はウィープバルブの先に付いているピンを上下に動かして目詰まりを取り除いてください。
詳細については、ドライフィルターの取扱説明書を参照してください。



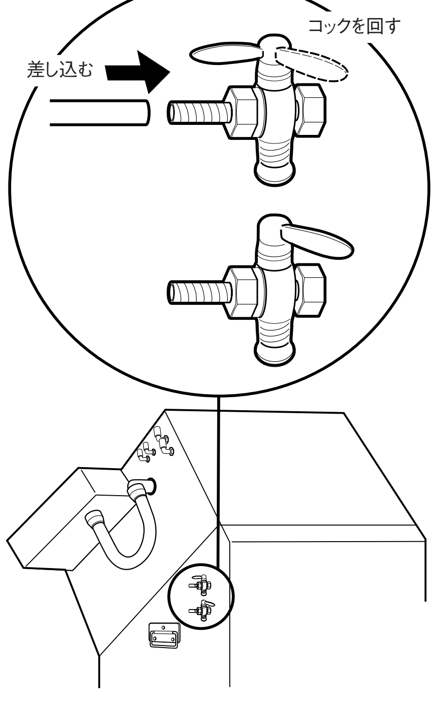
7-10　ガスボンベの接続と設定

・ボンベにガス調整器（減圧弁と流量計）のついたものを、製品の右側面のガスコック（どちらか１ケ所）に根元まで差込、作業開始時にガスコックを開いて（コックのレバーをコックに対して水平にして）から行ってください。また使用しない方のガスコックは、必ず閉じてください。
・窒素ガス・炭酸ガス併用の場合は、それぞれのコックに接続し、どちらか使用しない方のガスコックを閉じてください。

⚠ 注意　作業終了時や、長時間本機から離れる場合は、必ずガスボンベのコックを閉じてから作業場を離れてください。

⚠ 警告　窒素ガス・炭酸ガス以外のガス使用はおやめください。
窒素ガス・炭酸ガス以外のガスの使用をご検討される場合は、お買い上げの販売店または弊社までご相談ください。

MEMO　FKG シリーズにはガスボンベ及び調整器は取り付けていませんので、必要に応じてご用意ください。



7-11　ガス充填方法・選択の指針

FKG シリーズは、循環ガス充填と繰返しガス充填の二つの置換率を高める脱気・ガス充填方式を実行できます。各脱気・ガス充填方法における弊社においての測定値を以下に表示しますので、脱気・ガス充填方法を選択されるときの指針としてご参照ください。

注！　作業方法・作業条件により下記数値と異なる場合があります。
以下に示す数値は、富士インパルスの弊社工場において「8　正しい使い方」で記載する手順に沿って脱気・ガス充填した後に、計測した数値です。平均的な近似値としてお考えください。

7-11-1　従来方式の脱気・ガス充填の場合

FKG シリーズの機能を使用しない通常製品と同じ脱気・ガス充填方式の場合の測定値例。
循環ガスタイマーと循環タイマーを 0 に設定するとこの方式で脱気・ガス充填されます。

置換率	99.47	99.8
ガスタイマー（秒）	3.0	3.0
脱気タイマー（秒）	8.0	10.0
充填時ガス圧力（MPa）※	0.3	0.3

7-11-2　循環ガス充填の場合

「8-5 マニュアル脱気 + ガス循環後、シール」及び「8-6 タイマー脱気 + ガス循環後、シール」
を選択した場合の測定値例。

置換率	99.9	99.95
ガスタイマー（秒）	0.5	0
脱気タイマー（秒）	7.0	8.0
循環ガスタイマー	0	0
循環タイマー	5.0	10.0
充填時ガス圧力（MPa）※	0.3	0.15
ノズルサイズ	大	大

7-11-3　繰返しガス充填の場合

「8-7 マニュアル脱気 + 繰返しガス後、シール」及び「8-8 タイマー脱気 + 繰返しガス後、シール」
を選択した場合の測定値例

置換率	99.88	99.95
ガスタイマー（秒）	2.0	0.5
脱気タイマー（秒）	6.0	8.0
循環ガスタイマー	1.0	0.5
循環タイマー	4.0	8.0
充填時ガス圧力（MPa）※	0.3	0.25
ノズルサイズ	大	大

※　ガス圧力はガス充填時に低下しますので、ガス充填時に上記表の数値になるようにあらかじめ高めに設定して測定しました。

8　正しい使い方

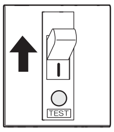
製品を使用される時は「7　準備」に記載している作業を行った後、以下の『正しい使い方』をよくお読みいただき、お使いください。
以下の方法以外の操作方法で使用されますと故障の原因となり、たいへん危険です。

下記の操作手順１～３は、どの操作方法を選択いただいても、共通の操作となります。

MEMO　各操作方法の手順解説ページでは、手順１～３の解説は記載を省略させていただいております。

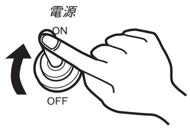
8-1　各操作共通手順

1　漏電ブレーカー ON



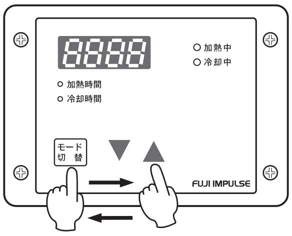
2　電源スイッチ ON

コンプレッサー始動・冷却ファン始動



3　加熱時間、冷却時間の調整

加熱時間、冷却時間の調整方法は「6-2 制御ボックスの各部の名称とはたらき」を参照してください。



8-2　シール専用

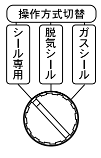
1　漏電ブレーカー ON

2　電源スイッチ ON

3　加熱時間、冷却時間の調整

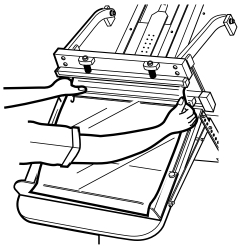
ここまでの操作手順 1 ～ 3 は、「8-1 各操作共通手順」を参照してください。

4　操作方式の選択＝「シール専用」

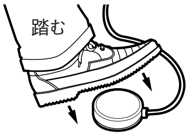


5　シール部に袋をセット

袋の両端を整え、シール位置を確かめます。

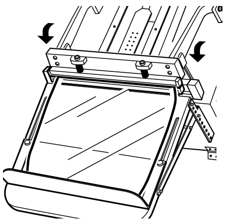


6　フットスイッチを踏む



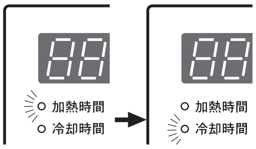
注！　安全回路により、レバーが閉じきる前で足を離すと圧着レバーは開きます。

フットスイッチを踏みますと以下の動作が自動的に行われます。



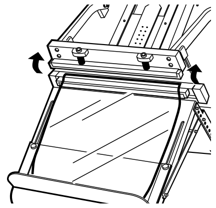
1　圧着レバーが閉じる
2　シール面に密着する

3 加熱ランプ、冷却ランプ点灯



7　シール終了後、圧着レバー開く

シールが終了すると、圧着レバーが上に上がり初期位置に戻りますのでシールが施された袋をシール部より取り除いてください。



8-3　マニュアル脱気後、シール

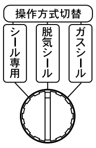
1　漏電ブレーカー ON

2　電源スイッチ ON

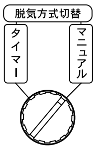
3　加熱時間、冷却時間の調整

ここまでの操作手順 1 ～ 3 は、「8-1 各操作共通手順」を参照してください。

4　操作方式の選択＝「脱気シール」

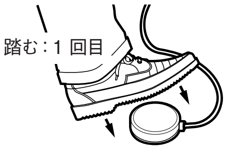


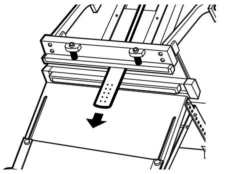
5　脱気方式の選択＝「マニュアル脱気」



6　フットスイッチを踏む（1 回目）

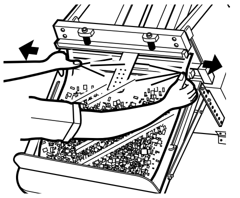
脱気用ノズルが前に出ます。





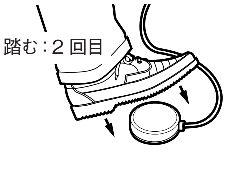
7　シール部に袋をセット

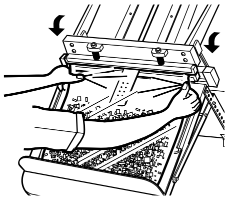
包装物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら袋の両端を整えます。



8　フットスイッチを踏む（2 回目）

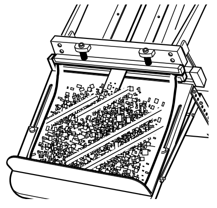
圧着レバーが閉じ、スポンジでノズルを挟み込んだまま袋を密封します。



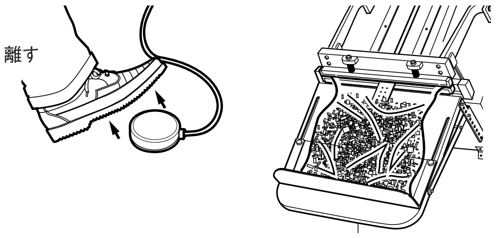


MEMO　安全回路によりレバーが閉じきる前で足を離すと圧着レバーは開きます。

MEMO　スポンジが密着してから袋の内容物をできるだけ、ノズルに近付けるようにして袋を整えると脱気しやすくなります。

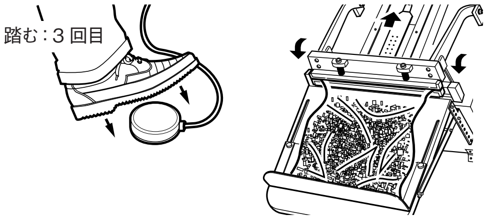


9　フットスイッチを離すと脱気開始

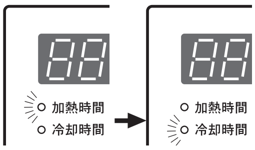


10　目安で適度な脱気状態になれば、フットスイッチを踏む（3 回目）と以下の動作が自動的に作動

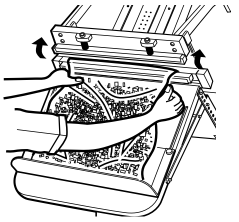
1　脱気終了後、ノズルが引込み圧着レバーがシール面に密着。



2　加熱ランプ、冷却ランプが順次点灯。

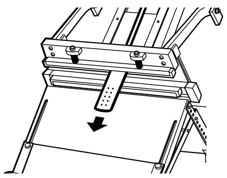


3　シールが終了すると、圧着レバーが上に上がり初期位置に戻ります。
シールが施された袋をシール部より取り除いてください。



11　連続作業待機

ノズルが前に出て作業待機します。
引き続き作業を行う場合は、手順 7 からの作業；「シール部に袋をセット」から続けてください。



8-4　タイマー脱気後、シール

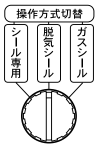
1　漏電ブレーカー ON

2　電源スイッチ ON

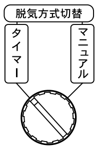
3　加熱時間、冷却時間の調整

ここまでの操作手順 1 ～ 3 は、「8-1 各操作共通手順」を参照してください。

4　操作方式の選択＝「脱気シール」



5　脱気方式の選択＝「タイマー脱気」

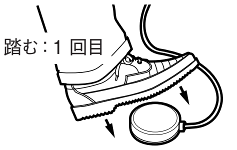


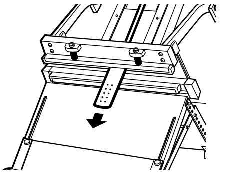
6　脱気時間を設定

脱気タイマーで設定します。

7　フットスイッチを踏む（1 回目）

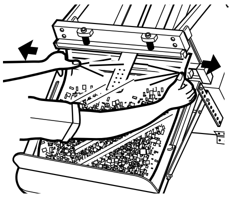
脱気用ノズルが前に出ます。





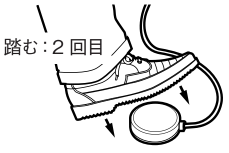
8　シール部に袋をセット

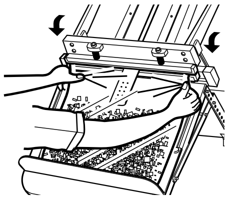
包装物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら袋の両端を整えます。



9　フットスイッチを踏む（2 回目）

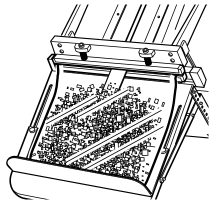
圧着レバーが閉じ、スポンジでノズルを挟み込んだまま袋を密封します。



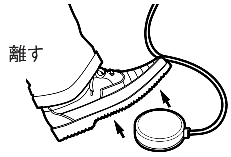


MEMO　安全回路によりレバーが閉じきる前で足を離すと圧着レバーは開きます。

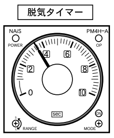
MEMO　スポンジが密着してから袋の内容物をできるだけ、ノズルに近付けるようにして袋を整えると脱気しやすくなります。

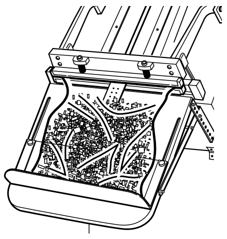


10　フットスイッチを離すと以下の動作が自動的に作動

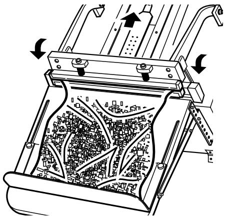


1　脱気タイマーが作動し、脱気開始

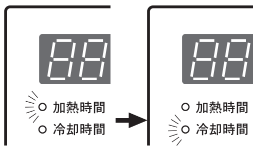




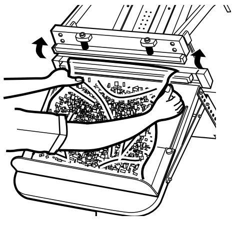
2　脱気タイマーで設定した脱気時間が経過すると脱気が終了し、ノズルが引っ込む



3　加熱ランプ、冷却ランプが順次点灯

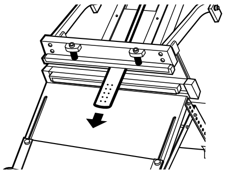


4　シールが終了すると、圧着レバーが上に上がり初期位置に戻ります。
シールが施された袋をシール部より取り除いてください。



11　連続作業待機

ノズルが前に出て作業待機します。
引き続き作業を行う場合は、手順 7 からの作業 ;「シール部に袋をセット」から続けてください。



8-5　マニュアル脱気 + ガス循環後、シール

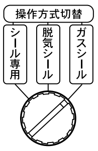
1　漏電ブレーカー ON

2　電源スイッチ ON

3　加熱時間、冷却時間の調整

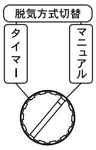
ここまでの操作手順 1 〜 3 は、「8-1 各操作共通手順」を参照してください。

4　操作方式の選択＝「ガスシール」



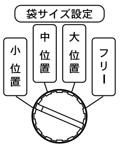
5　プログラム切替スイッチの選択＝「ガス循環」

6　脱気方式の選択＝「マニュアル脱気」



7　袋サイズの設定

ご使用される袋の大きさにより設定してください。



8　循環ガス時間を設定

循環ガスタイマーで設定します。

9　循環時間を設定

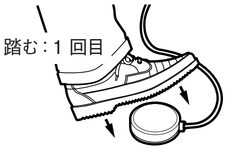
循環タイマーで設定します。

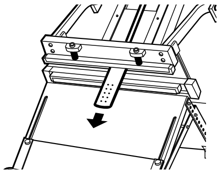
10　ガス充填時間を設定

ガスタイマーで設定します。

11　フットスイッチを踏む（1 回目）

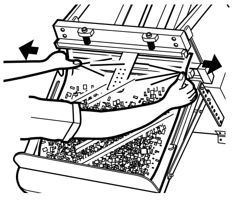
脱気用ノズルが前に出ます。





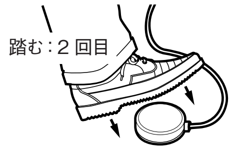
12　シール部に袋をセット

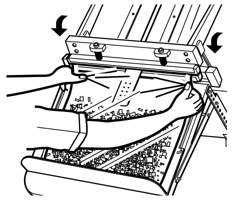
包装物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら袋の両端を整えます。



13　フットスイッチを踏む（2 回目）と以下の動作が自動的に作動

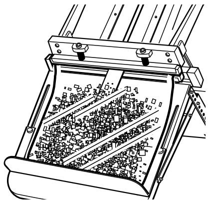
1　ガス用ノズルが前進し、圧着レバーが閉じる。
2　スポンジでノズルを挟み込んだまま袋を密封。



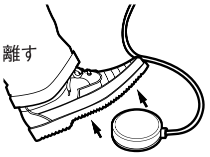


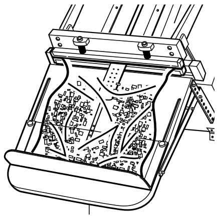
MEMO　安全回路によりレバーが閉じきる前で足を離すと圧着レバーは開きます。

MEMO　スポンジが密着してから袋の内容物をできるだけ、ノズルに近付けるようにして袋を整えると脱気しやすくなり、ガス置換率がアップします。

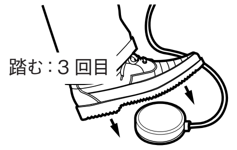


14　フットスイッチを離すと脱気開始

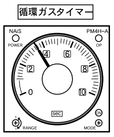




15　目安で適度な脱気状態になれば、フットスイッチを踏む（3 回目）と以下の動作が自動的に作動

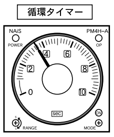


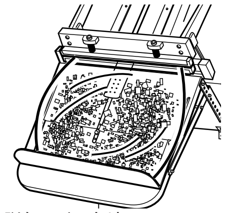
1　脱気停止後、循環ガスタイマーが作動しタイマーの設定時間までガス充填する



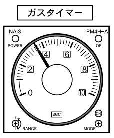
ガス充填

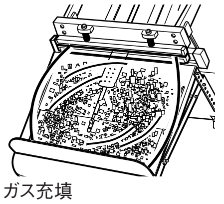
2　循環ガスタイマーの設定時間が経過すれば循環タイマーが作動し、脱気とガス充填を同時に行う



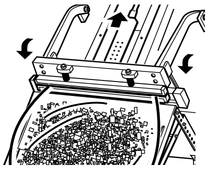

脱気とガス充填

3　循環タイマーの設定時間が経過すれば脱気が終了し、ガスタイマーが作動してガスのみ充填開始
4　ガスタイマーの設定時間が経過すればノズルが引込みガス充填が停止



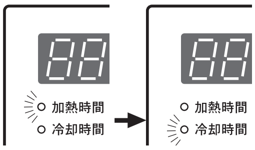

ガス充填

5　ガス充填停止後、圧着レバーがシール面に密着

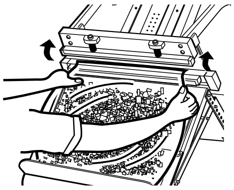


「8-5　マニュアル脱気 + ガス循環後、シール」の続き

6　加熱ランプ、冷却ランプが順次点灯

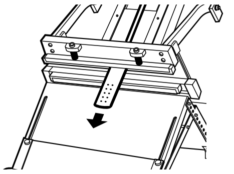


7　シールが終了すると、圧着レバーが上に上がり初期位置に戻ります。
シールが施された袋をシール部より取り除いてください。



16　連続作業待機

ノズルが前に出て作業待機します。
引き続き作業を行う場合は、手順 12 からの作業;「シール部に袋をセット」から続けてください。



8-6　タイマー脱気 + ガス循環後、シール

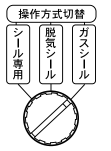
1　漏電ブレーカー ON

2　電源スイッチ ON

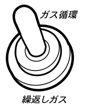
3　加熱時間、冷却時間の調整

ここまでの操作手順 1 ～ 3 は、「8-1 各操作共通手順」を参照してください。

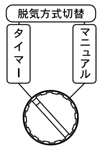
4　操作方式の選択＝「ガスシール」



5　プログラム切替スイッチの選択＝「ガス循環」

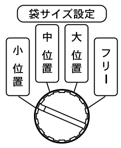


6　脱気方式の選択＝「タイマー脱気」



7　袋サイズの設定

ご使用される袋の大きさにより設定してください。



8　脱気時間を設定

脱気タイマーで設定します。

9　循環ガス時間を設定

循環ガスタイマーで設定します。

10　循環時間を設定

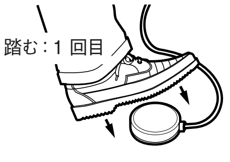
循環タイマーで設定します。

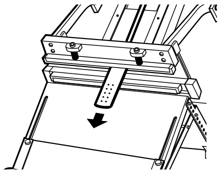
11　ガス充填時間を設定

ガスタイマーで設定します。

12　フットスイッチを踏む（1 回目）

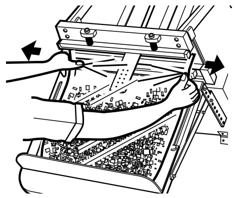
脱気用ノズルが前に出ます。





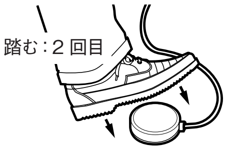
13　シール部に袋をセット

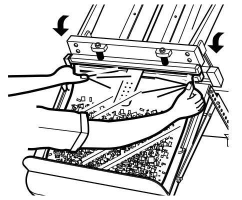
包装物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら袋の両端を整えます。



「8-6　タイマー脱気 + ガス循環後、シール」の続き

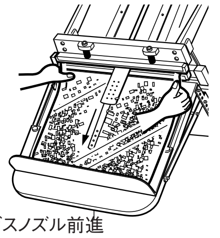
14　フットスイッチを踏む（2 回目）と以下の動作が自動的に作動



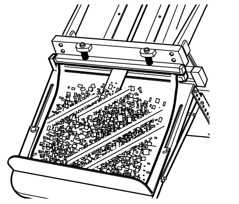


1　ガス用ノズルが前進し、圧着レバーが閉じる。

2　スポンジでノズルを挟み込んだまま袋を密封。



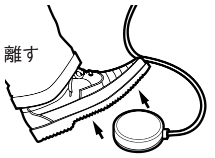
ガスノズル前進

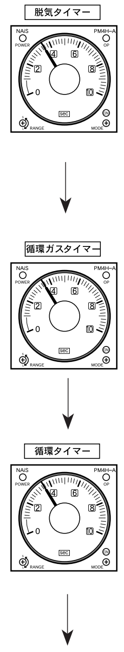


MEMO　安全回路によりレバーが閉じきる前で足を離すと圧着レバーは開きます。

MEMO　スポンジが密着してから袋の内容物をできるだけ、ノズルに近付けるようにして袋を整えると脱気しやすくなり、ガス置換率がアップします。

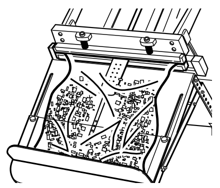
15　フットスイッチを離すと以下の動作が自動的に作動



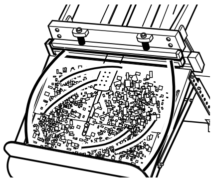


1　脱気タイマーが作動し、脱気開始

2　脱気タイマーの設定時間が経過すれば、脱気が停止

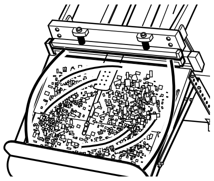


3　脱気停止後、循環ガスタイマーが作動し、タイマーの設定時間が経過するまでガス充填する



ガス充填

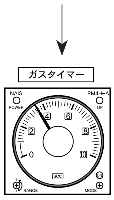
4　循環ガスタイマーの設定時間が経過すれば、循環タイマーが作動し脱気とガス充填を同時に行う

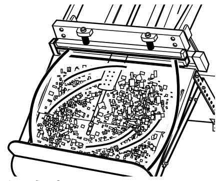


脱気とガス充填

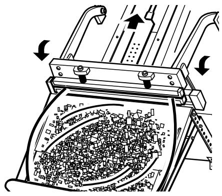
5　循環タイマーの設定時間が経過すれば、脱気が終了し、ガスタイマーが作動してガスのみ充填開始

6　ガスタイマーの設定時間が経過すればノズルが引込み、ガス充填が停止

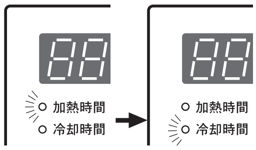



ガス充填

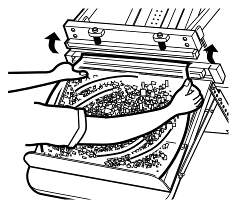
7　ガス充填が停止後、圧着レバーがシール面に密着



8　加熱ランプ、冷却ランプが順次点灯

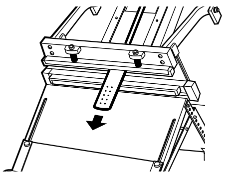


9　シールが終了すると、圧着レバーが上に上がり初期位置に戻ります。
シールが施された袋をシール部より取り除いてください。



16　連続作業待機

ノズルが前に出て作業待機します。
引き続き作業を行う場合は、手順 13 からの作業;「シール部に袋をセット」から続けてください。



8-7　マニュアル脱気 + 繰返しガス後、シール

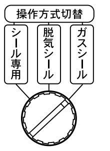
1　漏電ブレーカー ON

2　電源スイッチ ON

3　加熱時間、冷却時間の調整

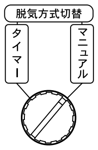
ここまでの操作手順 1 ～ 3 は､「8-1 各操作共通手順」を参照してください。

4　操作方式の選択＝「ガスシール」



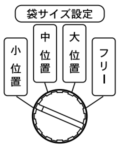
5　プログラム切替スイッチの選択＝「繰返しガス」

6　脱気方式の選択＝「マニュアル脱気」



7　袋サイズの設定

ご使用される袋の大きさにより設定してください



8　循環ガス時間を設定

循環ガスタイマーで設定します。

9　循環時間を設定

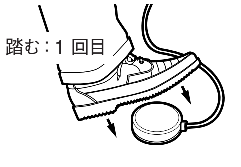
循環タイマーで設定します。

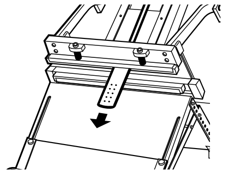
10　ガス充填時間を設定

ガスタイマーで設定します。

11　フットスイッチを踏む（1 回目）

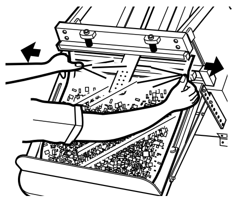
脱気用ノズルが前に出ます。



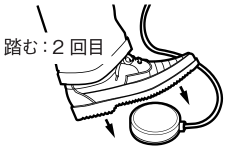


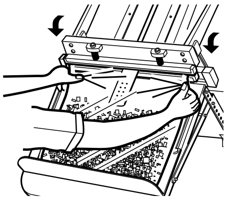
12　シール部に袋をセット

包装物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら袋の両端を整えます。



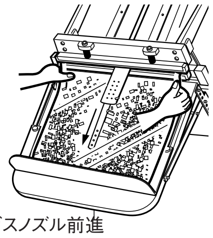
13　フットスイッチを踏む（2 回目）と以下の動作が自動的に作動

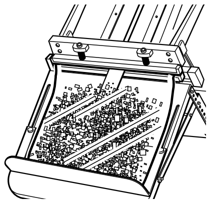




1　ガス用ノズルが前進し、圧着レバーが閉じる。

2　スポンジでノズルを挟み込んだまま袋を密封。

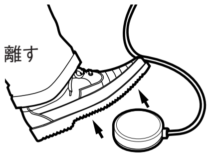

ガスノズル前進

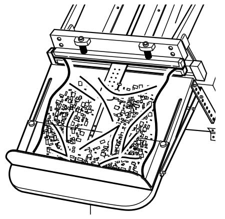


MEMO　安全回路によりレバーが閉じきる前で足を離すと圧着レバーは開きます。

MEMO　スポンジが密着してから袋の内容物をできるだけ、ノズルに近付けるようにして袋を整えると脱気しやすくなり、ガス置換率がアップします。

14　フットスイッチを離すと脱気開始

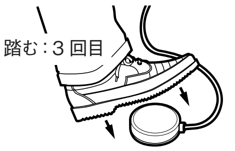




次のページ「手順 15」につづく

「8-7　マニュアル脱気 ＋ 繰返しガス後、シール」の続き

15　目安で適度な脱気状態になれば、フットスイッチを踏む（3 回目）と以下の動作が自動的に作動

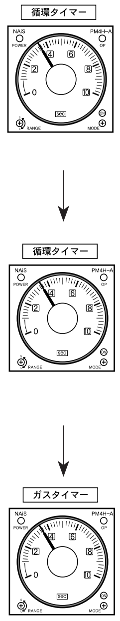


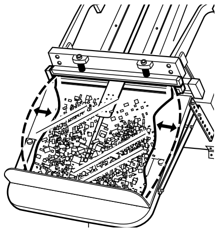
1　脱気停止後、ノズルサイズ小・中・大・フリーの位置設定によって、あらかじめシーケンサープログラム内で組込まれた時間までガス充填を行う（小位置 :1.0 秒・中位置 :1.3 秒・大位置 :1.7 秒・フリー位置 :2.0 秒までガス充填）

2　ガス充填終了後、循環タイマーが作動し、設定時間が経過するまで脱気が行われ、脱気が開始したと同時に 2 秒間ガス充填を停止

3　その後、循環ガスタイマーが働いて設定した時間が経過するまでガス充填

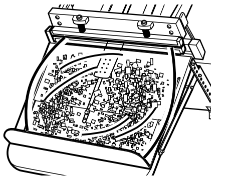
4　循環ガスタイマーの設定時間が経過すれば、2 秒間ガス充填を停止させ再度、循環ガスタイマーが働く





袋が膨張と収縮を繰返す

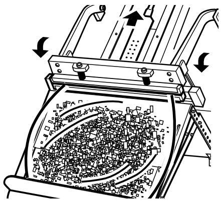
5　上記の動作が循環タイマーの設定時間が経過するまで繰返され、循環タイマーの設定時間が経過すると脱気が停止し、ガスタイマーが働いてガス充填のみ行う



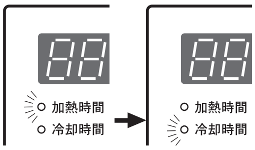
ガス充填

6　ガスタイマーの設定時間が経過すればノズルが引込みガス充填が停止

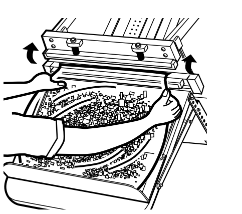
7　ガス充填停止後、圧着レバーがシール面に密着



8　加熱ランプ、冷却ランプが順次点灯

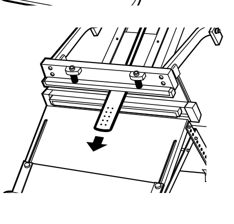


9　シールが終了すると、圧着レバーが上に上がり初期位置に戻ります。
シールが施された袋をシール部より取り除いてください。



16　連続作業待機

ノズルが前に出て作業待機します。
引き続き作業を行う場合は、手順 12 からの作業;「シール部に袋をセット」から続けてください。



8-8　タイマー脱気 + 繰返しガス後、シール

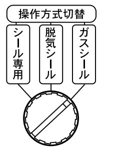
1　漏電ブレーカー ON

2　電源スイッチ ON

3　加熱時間、冷却時間の調整

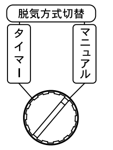
ここまでの操作手順 1 ～ 3 は、「8-1 各操作共通手順」を参照してください。

4　操作方式の選択＝「ガスシール」



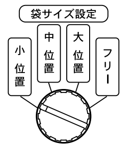
5　プログラム切替スイッチの選択＝「繰返しガス」

6　脱気方式の選択＝「タイマー脱気」



7　袋サイズの設定

ご使用される袋の大きさにより設定してください



8　脱気時間を設定

脱気タイマーで設定します。

9　循環ガス時間を設定

循環ガスタイマーで設定します。

10　循環時間を設定

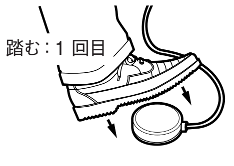
循環タイマーで設定します。

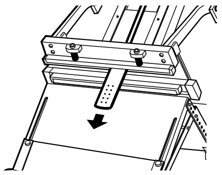
11　ガス充填時間を設定

ガスタイマーで設定します。

12　フットスイッチを踏む（1 回目）

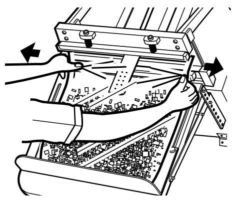
脱気用ノズルが前に出ます。





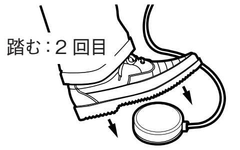
13　シール部に袋をセット

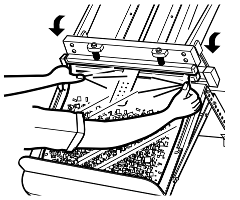
包装物の入った袋にノズルを差し込み、シール位置を確かめながら袋の両端を整えます。



「8-8　タイマー脱気 + 繰返しガス後、シール」の続き

14　フットスイッチを踏む（2 回目）と以下の動作が自動的に作動

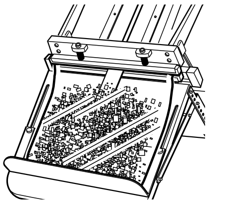




1　ガス用ノズルが前進し、圧着レバーが閉じる。

2　スポンジでノズルを挟み込んだまま袋を密封。

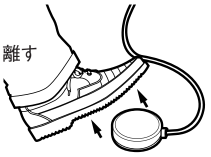
ガスノズル前進



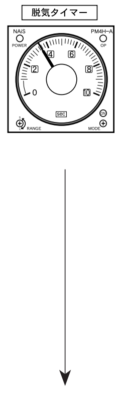
MEMO　安全回路によりレバーが閉じきる前で足を離すと圧着レバーは開きます。

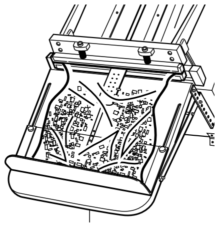
MEMO　スポンジが密着してから袋の内容物をできるだけ、ノズルに近付けるようにして袋を整えると脱気しやすくなり、ガス置換率がアップします。

15　フットスイッチを離すと以下の動作が自動的に作動



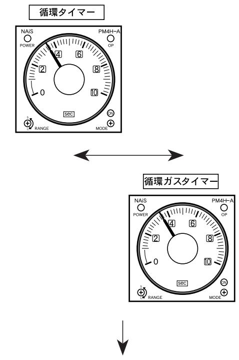
1　脱気タイマーが作動し脱気開始
2　脱気タイマーの設定時間が経過すれば脱気が停止

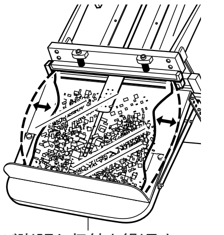




3　脱気停止後、ノズルサイズ小・中・大・フリーの位置設定によって、あらかじめシーケンサープログラム内で組込まれた時間までガス充填を行います。（小位置 :1.0 秒・中位置 :1.3 秒・大位置 :1.7 秒・フリー位置 :2.0 秒までガス充填します）

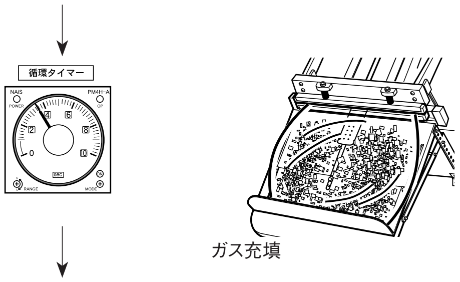
4　ガス充填終了後、循環タイマーが作動し、設定時間まで脱気が行われ、脱気が開始したと同時に 2 秒間ガス充填を停止
5　その後、循環ガスタイマーが働いて設定した時間が経過するまでガス充填
6　循環ガスタイマーの設定時間が経過すれば、2 秒間ガス充填を停止させ再度、循環ガスタイマーが働く





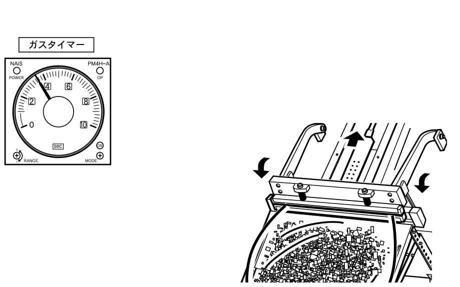
袋が膨張と収縮を繰返す

7　前述の動作が循環タイマーの設定時間が経過するまで繰返され、循環タイマーの設定時間が経過すると脱気が停止し、ガスタイマーが働いてガス充填のみ行う

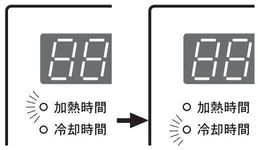


8　ガスタイマーの設定時間が経過すればノズルが引込みガス充填が停止

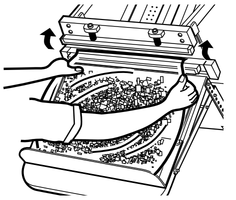
9　ガス充填停止後、圧着レバーがシール面に密着



10　加熱ランプ、冷却ランプが順次点灯

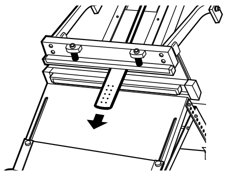


11　シールが終了すると、圧着レバーが上に上がり初期位置に戻ります。
シールが施された袋をシール部より取り除いてください。



16　連続作業待機

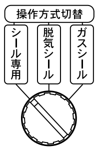
ノズルが前に出て作業待機します。
引き続き作業を行う場合は、手順 13 からの作業;「シール部に袋をセット」から続けてください。



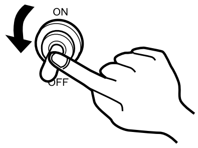
8-9　作業終了の仕方

1　切替スイッチ＝「シール専用」

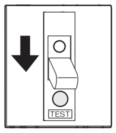
切替スイッチを「シール専用」に設定してください。



2　電源スイッチ OFF



3　漏電ブレーカー OFF

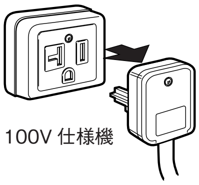


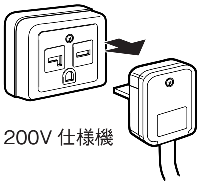
4　吸気フィルターを清掃する

吸気フィルターの清掃方法については「10-1　吸気フィルターの清掃」を参照してください。

5　作業終了

長時間使用されない時は電源プラグもコンセントから抜いてください。


100V 仕様機

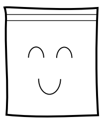

200V 仕様機

8-10　シールの仕上がり状態について

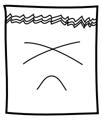
シールの仕上がり状態について

インパルス方式のシーラーは、シール条件として加熱、冷却、圧力が重要であり、シールの良否に大きく左右します。また、異なる包材、内容物において加熱温度、冷却温度、加圧力の最適な設定が異なりますのでご注意ください。

○



×



注 ！　異なる包材、内容物における最適なシール状態をお客さまの責任において確認してください。
ガゼット袋の場合、厚みが場所によって異なりますので密封されているかどうか、必ず確認してください。
【例：水中で袋を押し、気泡が出ないか確かめるなど】

附属部品の中にシールサンプルを入れておりますので参考にご利用ください。
フローガラスシート、シリコンゴムの網目が均一にシール模様に現れている状態が最適なシール状態です。